

阪神電鉄 300型 2号車 形式図

1954年、画期的な新車としてデビューした車両

小型車ばかりで独特のムードを通して来た阪神に、初めて登場した大型車と言う点もさることながら、

内容的に一新しい高性能機構を盛り込んだ意義は非常に大きい

高張力鋼、軽合金を駆使した全金属製車体、直角カルダン式の動力装置、MG両端にファンによる夏季冷風、

冬季暖風装置、それに誘導無線電話装置など、その特徴は非常に多く、日本の電車が大きく飛躍した記念

すべき年1954年の、代表車と言ってよい車両

